



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 石原産業株式会社

コード番号 4028 URL <https://www.iskweb.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 健一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 川添 泰伸 (TEL) 06-6444-1850

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	67,874	△4.0	△508	—	△1,249	—	△2,789	—
2020年3月期第3四半期	70,685	△6.5	1,372	△76.6	661	△88.6	△1,231	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △2,649百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △1,478百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△69.80	—
2020年3月期第3四半期	△30.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	169,288	73,219	43.3
2020年3月期	172,437	76,669	44.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 73,219百万円 2020年3月期 76,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 創立100周年記念配当8円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△1.1	3,500	△43.4	3,300	△38.3	1,300	△44.9	32.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	40,383,943株	2020年3月期	40,383,943株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	425,719株	2020年3月期	423,188株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	39,959,649株	2020年3月期3Q	39,963,671株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日）においては、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の制限に起因する景気停滞に直面しました。海外では、中国は顕著な経済成長を示しているものの、欧米をはじめ主要地域では感染拡大により景気の先行きが見通せない状況が続いています。国内でも政府の経済対策などにより緩やかながら景気回復の兆しを見せていましたが、再び感染拡大の傾向が強まり、先行きに不透明感が増してきました。

当社グループの主力事業を取り巻く環境は、無機化学事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響が厳しく、酸化チタン販売は、前年度を大きく下回りましたが、高機能・高付加価値製品は、前年度並みの販売を維持しました。有機化学事業においては、農作物栽培への同影響が限定的に留まり、主力の農薬の販売は海外向けが順調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高678億円（前年同期比28億円減）、営業損失5億円（前年同期は13億円の営業利益）、経常損失12億円（前年同期は6億円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失27億円（前年同期は12億円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

(無機化学事業)

酸化チタンは、新型コロナウイルス感染症の影響により自動車及び建築用途向けの販売が大幅に減少し、足元では、需要は回復しつつあるも売上高は268億円（前年同期比34億円減）となりました。

機能材料は、電子部品材料が5G関連で堅調に推移し、自動車関連も持ち直しつつあり、抗菌・抗ウイルス分野で光触媒用酸化チタンの販売が伸長したことなどから、売上高は77億円（前年同期比1億円増）となりました。

損益面では、酸化チタンの販売数量の減少とこれに伴う操業調整による固定費負担増に加えて、原料チタン鉱石価格の高止まりなどにより、販売、原価の両面から収益を圧迫しました。

この結果、無機化学事業の売上高は345億円（前年同期比32億円減）、営業損失は6億円（前年同期は19億円の営業利益）となりました。

(有機化学事業)

農薬の国内販売は、剤毎の増減はあるものの前年同期並みで推移しました。

海外販売は、米州において流通在庫の消化が進まず殺虫剤の販売が落ち込む一方、欧州での殺菌剤と除草剤の販売が順調に推移しました。

農薬以外では、動物薬の売上高が前年同期を上回りました。

この結果、有機化学事業の売上高は306億円（前年同期比3億円増）、営業利益は17億円（前年同期比9億円増）となりました。

(その他の事業)

売上高は26億円（前年同期並み）、営業利益は2億円（前年同期並み）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて31億円減少し1,692億円となりました。流動資産は、29億円減少し1,074億円となりました。これは、現金及び預金が19億円、たな卸資産が43億円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が87億円、流動資産のその他が3億円それぞれ減少したことなどによるものです。固定資産は、2億円減少し618億円となりました。これは、有形固定資産が4億円減少しましたが、繰延税金資産が2億円増加したことなどによるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べて3億円増加し960億円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2億円、持分法適用に伴う負債が3億円それぞれ増加しましたが、引当金が2億円減少したことなどによるものです。

純資産については、前連結会計年度末と比べて34億円減少し732億円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことや配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しなどを踏まえ、2020年11月6日に公表しました2021年3月期の通期業績予想を修正しました。

詳細は2021年2月10日に別途公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,925	22,892
受取手形及び売掛金	32,059	23,312
商品及び製品	32,664	32,402
仕掛品	6,047	6,205
原材料及び貯蔵品	15,004	19,483
その他	4,683	4,303
貸倒引当金	△1,060	△1,192
流動資産合計	110,324	107,407
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	17,634	20,111
その他（純額）	28,636	25,721
有形固定資産合計	46,271	45,832
無形固定資産	470	544
投資その他の資産		
投資有価証券	5,932	6,056
繰延税金資産	8,427	8,726
退職給付に係る資産	9	9
その他	1,085	794
貸倒引当金	△84	△82
投資その他の資産合計	15,371	15,504
固定資産合計	62,112	61,880
資産合計	172,437	169,288

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,433	17,716
短期借入金	15,869	20,903
1年内償還予定の社債	684	684
未払法人税等	371	222
引当金	1,113	898
その他	8,266	8,649
流動負債合計	43,737	49,074
固定負債		
社債	3,036	2,589
長期借入金	28,053	23,580
環境安全整備引当金	2,052	1,905
その他の引当金	—	109
退職給付に係る負債	12,884	12,885
持分法適用に伴う負債	399	716
その他	5,603	5,208
固定負債合計	52,029	46,994
負債合計	95,767	96,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,627	10,627
利益剰余金	25,298	21,710
自己株式	△727	△729
株主資本合計	78,618	75,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△429	△239
為替換算調整勘定	△1,216	△1,313
退職給付に係る調整累計額	△302	△255
その他の包括利益累計額合計	△1,948	△1,809
純資産合計	76,669	73,219
負債純資産合計	172,437	169,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	70,685	67,874
売上原価	51,944	51,491
売上総利益	18,741	16,382
販売費及び一般管理費	17,369	16,891
営業利益又は営業損失(△)	1,372	△508
営業外収益		
受取利息	42	21
受取配当金	275	143
貸倒引当金戻入額	—	355
原材料売却益	79	135
その他	155	107
営業外収益合計	552	763
営業外費用		
支払利息	464	402
金融手数料	142	182
持分法による投資損失	111	435
為替差損	312	297
その他	231	186
営業外費用合計	1,263	1,505
経常利益又は経常損失(△)	661	△1,249
特別利益		
保険差益	189	—
特別利益合計	189	—
特別損失		
減損損失	—	314
固定資産処分損	475	502
事業撤退損	—	758
関係会社整理損	334	—
その他	55	—
特別損失合計	864	1,574
税金等調整前四半期純損失(△)	△13	△2,824
法人税、住民税及び事業税	314	313
法人税等調整額	903	△348
法人税等合計	1,217	△35
四半期純損失(△)	△1,231	△2,789
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,231	△2,789

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△1,231	△2,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81	190
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△264	△83
退職給付に係る調整額	51	47
持分法適用会社に対する持分相当額	47	△13
その他の包括利益合計	△246	139
四半期包括利益	△1,478	△2,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,478	△2,649

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	無機化学事業	有機化学事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	37,865	30,280	2,539	70,685	—	70,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,914	2,914	△2,914	—
計	37,865	30,280	5,454	73,600	△2,914	70,685
セグメント利益	1,993	789	330	3,114	△1,741	1,372

(注) 1 調整額は、次のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,741百万円には、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,757百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
33,864	13,936	11,270	11,511	102	70,685

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、インド

(2) 米州：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

(3) 欧州：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域

(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	無機化学事業	有機化学事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	34,598	30,648	2,627	67,874	—	67,874
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3,503	3,503	△3,503	—
計	34,598	30,648	6,130	71,377	△3,503	67,874
セグメント利益又は 損失(△)	△667	1,772	294	1,399	△1,908	△508

(注) 1 調整額は、次のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△1,908百万円には、セグメント間取引消去28百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,936百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高 (単位：百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
32,999	12,645	10,097	11,935	196	67,874

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、インド

(2) 米州：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

(3) 欧州：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域

(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「無機化学事業」において、機械及び装置等の減損損失を314百万円計上しております。

「有機化学事業」において、機械及び装置等の減損損失を54百万円計上しております。